

教育目標

自主
他敬 自愛
創造

内野中だより

内野中ブログ
QRコード



新潟市立内野中学校だより 令和6年11月13日(水)発行 第7号 新潟市西区内野西1-10-1 電話 025-262-3161
生徒数 1年生289名 2年生255名 3年生255名 計799名(11月13日現在)

夢に近づくためには 具体的な行動あるのみ 前期終業式～校長講話～ 校長 佐藤 靖子

篠原洋一さんという方をご存じでしょうか？私が夏の研修でお目にかかったこの方から学んだことをお伝えします。篠原さんは、中学生時代に理科の授業でオーロラの写真を見たその時から、実際にオーロラを見てみたいと思いついて続けて実現した方です。今では一般人も北極でのオーロラ観測ツアーに参加すれば、条件が整った時に見ることが可能です。今年は新潟県内でも数回、赤っぽいオーロラが観察されていました。けれども、空に浮かぶカーテンのようなオーロラを見るためには、北極や南極に滞在してその機会を待つしかありません。オーロラを見ながら仕事をするためには、南極地域観測隊員になることが近道です。しかしながら、観測隊員の一番の任務は天体、気象、地球科学、生物学の観測研究です。研究者として選ばれることはかなり狭き門です。また昭和基地のメンテナンス、増築工事、通信などの技術者も優れた技術力が必要です。篠原さんは、研究者や技術者にはなりませんでしたが、何となくでもオーロラを見るために昭和基地での調理人を目指しました。そのためには限られた食材、限られた人数で、大勢の食事を準備する訓練を積み重ねました。ある時、豪華客船「飛鳥」「飛鳥II」での調理人としての機会を得て、そこでダイバーシティ(多様性)のルールを模索し続けながら14年間勤務されました。7割以上が国籍の従業員と共に協調性と融和を大切にして、多様なお客様に料理を提供し、さらにチームで成し遂げるために必要な心と技術力を磨かれました。その後、その優れた手腕の噂が広まり、昭和基地での調理人として面接を受けることができ、念願叶い第33次・第50次南極地域観測隊員に2度も選ばれることになりました。オーロラを何度も見ることができたということです。

夢を実現するためには、様々なルートがあること。思いついて具体的に実行し続けていると誰かがどこかで見ていて、チャンスはいつか訪れることが多いのだから、簡単には諦めない、腐らないことが人生を切り開くポイントであることを熱く語ってくれました。また、篠原さんは、「南極昭和基地での限られた空間で、約40人の隊員と寝食を共にすることは互いにストレスが生じる。しかし、外は命の危険だらけの世界。中には気の合わない人もいます。逃げ場がない。重要なのは、自分の心をコントロールすること。アンガーマネジメント(怒りをコントロールする力)これが互いにできるようになることが大切。普段は、無理に付き合わなくてもいい。しかし、仕事は最大限の助け合いをすることがチームである」と仰っていました。そして、特に篠原さんの実感のこもった最後の言葉が心に響きました。

「南極観測隊や宇宙飛行士チームでいじめはあり得ない！ いじめは、いつか自分に跳ね返り、自分の命を脅かすことになるから。」

生徒の皆さんの目の前のチーム(学級、班、部活動、クラブ等)、大人の皆さんは、職場や地域でのチームはいかがですか？
後期も**アンガーマネジメント**を意識して**チームワーク**よく過ごして参りましょう。

後期始業式～代表生徒決意～

1年代表 Tさん

みなさんはノートをどのようにして書いていますか？僕は何も考えずにノートを書いていました。見直しても、重要な箇所が分かりませんでした。だから、前期は重要な用語を赤の線で引いたり、成績のいい人のノートを意識してまねたりしました。結果、五教科全ての平均点を超えました。しかし、ノートに色付けするだけでは、ワークをした時、なぜ間違ったのか分かりませんでした。後期は、分からないところは積極的に先生に質問をして、ノートにやり方や間違っただけでもメモすることを頑張りたいです。これらのことを意識して前回のテストよりもいい点を取り、自分に自信のある人になりたいです。

2年代表 Eさん

私が後期頑張りたいことは二つあります。一つ目は勉強です。前期は満足できる点数を取りましたが、目標点数には届きませんでした。振り返ってみると、一週間前から学習を始め、前日に一気に学習していました。後期は二週間前から計画通りに進めていきたいです。二つ目はサッカーです。サッカー部は全国大会に出場しましたが、敗北しました。負けた瞬間、私は来年全国大会で勝つことを目標にできるのか、そもそも全国大会に出場できるのかと考えました。新チームが九月にスタートしリードする立場になりました。自主練習を増やし練習の質を上げ、チームワークを強化して目標達成のための準備をしていきたいです。

3年代表 Iさん

私が後期に頑張りたいこと、それは学習です。
三年生は受験の時期が近づいてきました。私は受験勉強を通して志望校に合格することだけでなく、目標に向かって一生懸命努力する経験を積み、将来努力ができる人になりたいと考えています。そして、三年生の中でも一人ひとり色々な道を進む人がいると思いますが、全員で支えあい、良い雰囲気を作っていくことが、それぞれのより良い道への一歩を踏み出すうえで大切だと思っています。

学習や受験など自分と向き合う壁は大きいですが、あまり重く考えすぎず、自分らしい方法で自分なりの目的意識をもって、学習に取り組んでいきたいです。

生徒会代表 Hさん

私は、先日生徒会三役の選挙で、次期生徒会長に信任して頂きました。新しく背負った重責や勉強において、私はこの後期で二つの目標をたてました。一つ目は、生徒会書記として、残りの任期を精一杯努めることです。現三役の活躍する姿を見て学び、積極的に仕事に取り組み、会長に就任するまでに能力を磨いておきたいです。二つ目は、五教科の力を伸ばすことです。受験期になってからだと、会長としての仕事に支障をきたすかもしれないので、今のうちに、勉強方面でのモデルを作り上げようと思っています。今までは勉強する内容がその日の気分や思いつきでした。これからは、小さな目標を決めて実行し、大きな目標が達成できるようにしたいです。

キャリア教育講話 9月30日(月)

講師 日本バレーボール協会会長 川合 俊一 様

～世界と闘うには?～

日本バレーボール協会会長の川合俊一様をお迎えし、「世界と闘うには?」と題してご講演をいただきました。代表生徒の質問に、思いを込め、熱くお話をしていただきました。具体的な話ばかりで、きっと生徒にとって得るものが多かったのではないかと思います。脇で聞いていた学校職員からも感嘆の声や笑いなどが起きていました。生徒だけでなく職員にとっても得るものが多くありました。放課後の時間には予定になかったにも関わらず、川合さんのご厚意でバレーボール部の生徒へ指導や激励の言葉をいただきました。



入場した川合さんの身長に生徒が驚いていました

パネルディスカッションの様子です



川合俊一様の講話での素敵な言葉を紹介します

つらいことを「つらい」と思わず続けられる人になる

「日本で活躍したり、世界で闘えるようになったりするにはどうしたらよいですか?」
に対する答えの中のフレーズ。
一流の選手のまねをすること、レベルの高い環境に早い段階で行き、努力を続けていくことが大切。



ドキドキをワクワクに変える

「プレッシャーに勝てる方法は?」という質問に対する答え。対戦相手の研究は頭に残ってしまうから、緊張のドキドキを切り替える方がよい。

絶対に言わない言葉

運が悪い、ついてないは絶対言わない。
シグナルとして慎重に考える。
ポジティブでいることが大事。
感謝。慎重にする。

失敗はいいこと

自分の今後の勉強になる。
できないことができるようになると人生が変わる。喜びになる。

早く正直に謝る

悪いことを隠さない、誠実な対応をする。
人との関係を大切に。

一旦どん底まで反省する

反省をしっかりする。中途半端な反省はただただ続いてダメ。
どん底まで反省したら浮上してくる。



最後に全校生徒と撮影しました

他にも紹介しきれないほどの言葉やフレーズがありました!

輝瞳祭 10月25日(金)

新潟市民芸術文化会館りゅーとぴあにて

この日を目指して、各学級、練習を継続し高めてきました。各学級ともその成果を十分に発揮し、素晴らしい合唱がホールいっぱいに響きました。最後に、関東合唱コンクールで金賞を受賞した合唱部による合唱2曲と、希望生徒による特設合唱部から「栄光の架け橋」が披露されました。素晴らしい合唱に感動し、涙を流す職員もいました。

生徒会起案のスローガン

雲外蒼天～響かせろ！

世界に一つのシンフォニー～

どんな試練でも、努力して乗り越えれば
快い青空が望めるという意味です。

特設合唱部による合唱

初めて聴いた1年生の男子
が、自分もやってみたい！と
感動していました。



音楽科職員 松山 綾子より

学年ごとのそれぞれの課題をクリアする素晴らしい合唱になりました。はっきり感じられる表現の工夫がどのクラスにもあり、拍手の様子からそれが聴き手に届き、ホール全体が感動の一体感に包まれたと思いました。

音楽科職員 桑野 絵梨奈より

今年は生徒の主体性を高めることを大切にして指導しました。生徒は、自分たちの決めたテーマに近づきたいという気持ちで練習してきました。当日はその気持ちが込められた素敵な合唱になったと感じます。

～輝瞳祭を終えて～ 実行委員長 3年2組 Sさんより

私が輝瞳祭実行委員長として頑張ったことは、自分の意見をはっきり言うことです。当たり前のことかもしれませんが、自分は発言することが苦手な方なので、発言を頑張りました。自分の意見を伝えると、応答で相手の考えが理解でき、意見がまとまりやすくなって良いということが分かりました。また、少しでもわからないところは先生に聞くことを意識しました。実行委員長は前に立って指示や発言をする時が多く、そのような場面で、私が戸惑ったり迷ってしまったりしてしまうと、他の実行委員を不安にさせてしまうと思い、事前準備を大切にしてきました。そのおかげで輝瞳祭当日は大きいハプニングはなく、自分の仕事を果たすことができ良かったです。当日はクラスでの合唱、合唱部での合唱、実行委員長の言葉で3回ステージに上がりました。こんなに人の前に立つことは初めてでしたが、自分の中で大きな成長になったと思います。人前に立つことへの緊張感が前よりもなくなり、クラスや全校をまとめる力が輝瞳祭を通して少しついた気がします。輝瞳祭準備期間も含めて中学校生活で最高の思い出になりました。

生徒がデザインした輝瞳祭PR ポスター



生徒会立会演説会 10月4日(金)



生徒会役員選挙に向けて、朝から生徒玄関前で選挙運動が行われました。各立候補者、責任者、運動員の生徒が笑顔で登校してくる生徒にあいさつとともに投票を呼び掛けています。



生徒会役員選挙の立会演説会の様子です。次の年度のリーダーを決める大切な会として、全校生徒の真剣な様子を感じられました。生徒が主体となって活動する様子に、これからの生徒会をつくっていく気概を感じました。



1年生は、中学校初めての投票で少し緊張した生徒もいたようです。厳かな雰囲気投票しました。移動の案内は、選挙管理委員が行いました。無効票がでないように、注意事項をぎりぎりまで確認していました。

「健康講演会」 第2学年

【デートDVセミナー】 10月9日(水)



NPO法人「女のスペースにいがた」 外山 ゆり 様を講師にお迎えし、デートDVとは何か、防止するためにできること、上手なコミュニケーションのとり方についてなどお話いただきました。

第2学年の先生方が、登場人物になって寸劇を演じることで、生徒は興味をもって聞いていました。「私」を主語にしたIメッセージと「あなた」を主語にしたYOUメッセージとの違いが印象に残りました。

「健康講演会」 第3学年

【薬物乱用防止教室】 10月16日(水)

新潟少年鑑別所職員 白峰 博司 様においでいただき、薬物乱用防止教室を行いました。実際に非行少年にかかわった立場から薬物を使用するとどうなるか、薬物乱用による影響など薬物の怖さに実感できる具体的なお話で生徒はとても真剣に聞いていました。特に依存の種類や、その恐ろしさについて詳しく説明をしていただきました。



※健康講演会は、西区公民館と共催して行われました。

今後も地域の方々に広報し、共に学ぶ機会を設けていきたいと思ひます。

今回の「靖子の部屋」は、春に実施した飛翔祭(体育祭)で活躍した4つのチームのリーダーを招きました。

